

番号	2-2-1	表題	第二沈殿池での脱窒浮上抑制及び水質改善への取組	
内容	<p>三河島水再生センターでは、りん除去を主な目的とした（擬似）嫌気 - 好気活性汚泥法を採用している。水処理系列によって、一部の反応槽では亜硝酸化が進行しやすい傾向があり、また、第二沈殿池（以下「二沈」という。）では脱窒による汚泥浮上が起こりやすく一年を通した硝化促進運転が難しい。</p> <p>そこで、年間を通して良好かつ安定的な窒素処理を行うため、硝化促進運転と二沈での汚泥浮上抑制を両立させる運用方法を検討し、令和 5 年度中に当センターで発生した問題に対し下記の対策を実施し、その影響を調査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライザー管バルブを調整し、反応槽での槽内脱窒の促進による窒素処理の改善 ・施設停止の影響を考慮した適切な二沈滞留時間の確保による汚泥浮上の抑制 <p>調査の結果、一定の効果が見受けられたこととあわせ、汚泥浮上に関するその他の要因の推測など様々な知見を得ることができたため、こうした令和 5 年度における取組の状況について報告する。</p>			
キーワード	脱窒浮上 槽内脱窒 送風量調整 二沈滞留時間 透視度			
処理区名		位置区分	処理場 水再生センター	
職種区分	環境検査	施策区分	高度処理 維持管理向上	
状態区分	調査 研究	新規性		
実施年度	令和 5 年度	全体期間	～令和 5 年度	
担当部署	北部下水道事務所 三河島水再生センター 水質管理担当			
発表履歴	局内	令和 5 年度 水質技術研究発表会		
	局外			
調査方法	直営調査			
関連情報				